



## ペルーの文化紹介・第2弾～遺跡の旅～

マチュピチュやナスカの地上絵で有名なペルー。昨年、文化や習慣について紹介していただき大好評でした。次はサウセドさんの専門分野である考古学について、もっと深く知りたいと多くの要望があり、第2弾を開催します。首都リマには町の中心地に493個もの遺跡があり、毎年発掘調査で帰国して研究されています。普段触れることのない異国の文明について話を聞いてみませんか。

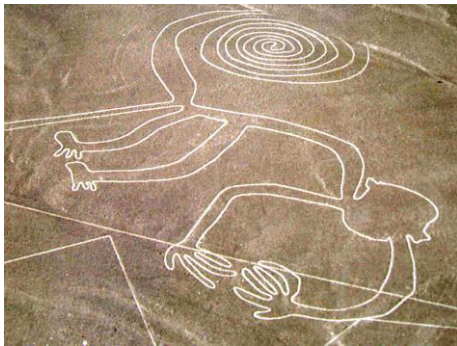
日程：2024年3月14日（木）  
午後1時半～3時

場所：コミュニティプラザ会議室1・2

講師：サウセド セガミ ダニエル ダンテさん  
(SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante)

参加費：無料 定員：25名

申込み：協会まで電話、メールで受付



ペルーのリマ市の出身で、ペルー教皇カトリック大学で考古学を学びました。その後、日本へ留学生として、熊本大学、岡山大学と総合研究大学院大学（国立民族学博物館）で日本の考古学と文化人類学を学び、古代遺跡と現代の地域住民の繋がりの研究を始めました。現在、立命館大学政策科学部の准教授として、日本とペルーにおけるまちづくりで遺跡の役割、ペルーの日系人の歴史について、研究をしています。



主催：摂津市国際交流協会

〒566-0021 摂津市南千里丘5-35 コミュニティプラザ2階

TEL 06-6319-6251 FAX 06-6318-6004

Email: office@settsu-saie.org



ホームページ

